

2024年9月6日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 牧野 研二  
(コード: 6267 東証スタンダード・名証メイン)  
問い合わせ先 取締役管理部長 杉田 篤紀  
電話番号 0568(23)3111(代表)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価・分析

当社グループの直近5期の経営指標の推移は以下のとおりです。

	2020年 7月期	2021年 7月期	2022年 7月期	2023年 7月期	2024年 7月期
売上高(百万円)	8,522	8,787	8,643	9,054	9,853
営業利益(百万円)	835	1,035	1,126	930	1,000
経常利益(百万円)	839	1,042	1,135	939	1,019
当期純利益(百万円)	567	741	778	665	721
1株当たり当期純利益(円)	321.37	419.43	439.99	375.30	407.66
ROE(自己資本利益率)	13.47%	15.53%	14.31%	11.00%	10.92%
PER(株価収益率)	5.72倍	5.86倍	6.09倍	7.03倍	6.99倍
PBR(株価純資産倍率)	0.73倍	0.85倍	0.82倍	0.74倍	0.73倍

当社グループの資本収益性指標であるROEは株主資本コストを上回る水準で推移しております。一方、日本取引所グループの統計月報で公表されている2024年6月末日時点の東京証券取引所スタンダード市場の当該単純平均値ではPBRが0.8倍、PERが13.2倍となっており、分析指標と比べて低い結果となっていることから、株式市場における当社の株価は割安に評価されております。PBR=PER×ROEに分解でき、当社グループでは現状ROEが高い状態のため、PBRの改善にはPERの改善が必要となります。PERが低い要因は、当社グループの成長性や収益性に対する市場からの評価が十分に得られていないものと分析しております。

## 2. 改善に向けた方針・取り組み

現状分析で認識した当社グループの課題を踏まえ、以下の取り組みを通じて業績向上を図るとともに株主や投資家の皆様に当社グループの成長性や収益性をご認知いただき、その結果としてPBR 1倍の水準に到達することを目標とします。

### (1) 2023年8月よりスタートの第7次中期経営計画の達成

#### ①第7次中期経営計画最終年度の2025年7月期目標の達成

◆経営目標	(達成時期：2025/7月期)
1. 売上高経常利益率	10.0%以上
2. ROA (総資産経常利益率)	9.0%以上
3. ROE (自己資本利益率)	10.0%以上
◆経営目標	(達成時期：2025/7月期)
1. 売上高	11,000 百万円
2. 経常利益	1,100 百万円
3. 当期純利益	770 百万円

#### ②飛躍的成長に向けたグローバル展開の加速

マーケット規模が限られる国内からマーケット規模の大きい海外市場への進出を加速します。海外売上高の増加を通じて海外売上高比率 40%以上を目指します。

### (2) 安定的な株主還元継続

当社グループの利益配分は、長期的安定と成長を維持するという観点から、企業価値を増大させる再投資のための内部留保と、株主への積極的な利益還元を図ることを基本方針としております。配当政策につきましては、連結配当性向 30%又は連結純資産配当率 (DOE) 3%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指してまいります。

### (3) その他の施策

①決算説明会の継続開催と個人投資家向けイベントへの参加など個人投資家への活動の充実を図ります。

②株式流動性向上のため、株式分割を検討します。

以 上